



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年1月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明
 問合せ先責任者 (役職名) 業務本部経営企画部長 (氏名) 津田 琢哉 (TEL) 03 (3663) 3111
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	61,962	△0.0	4,287	△27.6	5,561	△12.9	2,094	△45.1
23年3月期第3四半期	61,979	3.4	5,921	5.9	6,385	5.6	3,814	1.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,961百万円 (△49.0%) 23年3月期第3四半期 3,842百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第3四半期	15	66	-	-
23年3月期第3四半期	28	39	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
24年3月期第3四半期	69,320	52,800	52,800	74.9		
23年3月期	71,538	52,132	52,132	71.7		

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 51,935百万円 23年3月期 51,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	-		3	00	-		4	00	7	00
24年3月期	-		3	00	-					
24年3月期 (予想)							4	00	7	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	81,800	1.3	4,880	△22.5	6,600	△5.2	2,700	△33.1	20	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー 社 (社名 ー) 、除外 ー 社 (社名 ー)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期 3 Q	141,667,400株	23年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	24年3月期 3 Q	8,311,884株	23年3月期	7,323,153株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期 3 Q	133,808,686株	23年3月期 3 Q	134,354,683株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況の中、生産の回復を中心に持ち直しつつありましたが、欧州の政府債務危機に起因する海外経済の失速や円高の長期化、タイの洪水影響などを受け、回復速度は緩やかなものとなりました。また、先行きについても震災以前からのデフレ傾向や厳しい雇用情勢に加えて電力供給の制約や原子力災害の影響も懸念され、依然として厳しい状況が継続すると思われま

す。

セグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

砂糖事業におきましては、原料面では海外粗糖相場が主にブラジル生産見通しの影響を受け、期を通じて動きの激しい状況にて推移いたしました。当社としては慎重かつ堅実な原料調達に努めると共に、適宜出荷価格を改定し、適正な価格での販売に注力いたしました。

売上高としては国内販売価格水準の上昇を背景に前年同期を若干上回る結果ではありますが、震災により工場生産設備に一部被害を受けたこと、また第3四半期において原料相場の下落による先安感から業務用の販売が低調に推移したことなどにより販売量は前年同期を下回りました。

生産面では原発事故の影響に伴う節電対応や省エネ活動に努めましたが、原油相場が高水準で推移したことにより燃料費が悪化いたしました。

以上の結果、砂糖事業の売上高は55,654百万円、営業利益は3,388百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

始値189～190円 高値190～191円 安値185～186円 終値190～191円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値27.11セント 高値31.85セント 安値20.40セント 終値23.31セント

(食品素材事業)

食品素材事業におきましては、主にガーデニアン色素の水産加工品向け販売量が増加するなど色素事業が好調に推移しましたが、パラチノース®事業の輸出版売量の減少などを受け、事業全体としては売上高5,300百万円、営業利益332百万円と前年同期を若干下回る結果となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃料相場の低迷等、厳しい環境が続く中、引き続き社有不動産の効率的活用に努めました結果、売上高は1,007百万円、営業利益は566百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は61,962百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は4,287百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティーとして457百万円を計上したこと、またタイ国関係会社の堅調な業績から持分法による投資利益679百万円を計上したことなどにより、経常利益は5,561百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

特別損益においては、生産性の向上を目的とした生産拠点の見直しを検討し、平成23年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月末をもって岡山工場における精製糖生産を終了し、神戸工場へ生産集約することについて決議したことに伴い、減損損失2,009百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は2,094百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

〔連結財政状態の変動状況〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比2,217百万円減少し69,320百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比1,386百万円減少し20,634百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加752百万円、商品及び製品の増加711百万円があった一方で、現金及び預金の減少918百万円、原材料及び貯蔵品の減少1,790百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比831百万円減少し48,685百万円となりました。これは主として、有形固定資産等の取得による増加があった一方で、減損損失及び減価償却による減少等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比2,885百万円減少し16,520百万円となりました。これは主として、コマーシャル・ペーパーの増加1,000百万円、未払消費税等の増加222百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の減少1,053百万円、借入金の減少635百万円、未払費用の減少764百万円、繰延税金負債の減少591百万円、未払法人税等の減少662百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比667百万円増加し52,800百万円となりました。これは主として、四半期純利益2,094百万円、剰余金の配当938百万円、自己株式取得351百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年11月7日に公表のとおりとし変更はございません。なお、当社は平成23年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月末をもって当社生産拠点の1つである岡山工場（岡山市南区）における精製糖生産を終了し、神戸工場へ生産集約することを決議しております。同日開示資料「岡山工場における精製糖生産終了に関するお知らせ」を併せてご覧いただきますようお願いいたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,458	4,539
受取手形及び売掛金	4,488	5,241
商品及び製品	4,085	4,796
仕掛品	1,709	1,798
原材料及び貯蔵品	5,438	3,648
繰延税金資産	548	381
その他	302	239
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	22,021	20,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,077	23,863
減価償却累計額	△16,118	△16,479
建物及び構築物 (純額)	7,958	7,383
機械装置及び運搬具	39,453	38,831
減価償却累計額	△32,269	△32,934
機械装置及び運搬具 (純額)	7,183	5,897
工具、器具及び備品	1,619	1,599
減価償却累計額	△1,343	△1,326
工具、器具及び備品 (純額)	275	272
土地	19,682	18,906
リース資産	44	55
減価償却累計額	△15	△22
リース資産 (純額)	28	32
建設仮勘定	1,045	2,127
有形固定資産合計	36,174	34,620
無形固定資産		
無形固定資産合計	55	347
投資その他の資産		
投資有価証券	12,336	12,721
長期貸付金	59	50
繰延税金資産	129	140
その他	781	826
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	13,287	13,718
固定資産合計	49,517	48,685
資産合計	71,538	69,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,382	5,329
短期借入金	—	500
1年内返済予定の長期借入金	1,324	413
コマーシャル・ペーパー	—	1,000
リース債務	8	10
未払費用	2,566	1,802
未払法人税等	1,330	667
未払消費税等	31	253
役員賞与引当金	68	38
資産除去債務	—	24
その他	1,074	1,108
流動負債合計	12,786	11,148
固定負債		
長期借入金	1,185	960
リース債務	21	23
繰延税金負債	1,216	625
退職給付引当金	1,792	1,580
資産除去債務	56	31
長期預り保証金	1,022	913
その他	1,324	1,237
固定負債合計	6,619	5,371
負債合計	19,406	16,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,255
利益剰余金	46,081	47,233
自己株式	△2,566	△2,914
株主資本合計	51,851	52,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	127
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	△713	△846
その他の包括利益累計額合計	△541	△721
少数株主持分	821	864
純資産合計	52,132	52,800
負債純資産合計	71,538	69,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	61,979	61,962
売上原価	48,025	49,796
売上総利益	13,954	12,166
販売費及び一般管理費		
配送費	1,837	1,852
役員賞与引当金繰入額	49	35
退職給付引当金繰入額	111	113
その他	6,034	5,878
販売費及び一般管理費合計	8,033	7,878
営業利益	5,921	4,287
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	55	59
受取ロイヤリティー	0	457
持分法による投資利益	464	679
雑収入	110	215
営業外収益合計	633	1,413
営業外費用		
支払利息	21	17
固定資産除却損	37	36
雑損失	109	85
営業外費用合計	169	139
経常利益	6,385	5,561
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
合理化対策事業助成金収入	44	61
特別利益合計	44	68
特別損失		
固定資産圧縮損	44	61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33	—
減損損失	—	2,009
災害による損失	—	25
投資有価証券評価損	35	14
特別損失合計	113	2,111
税金等調整前四半期純利益	6,316	3,517
法人税、住民税及び事業税	2,216	1,785
法人税等調整額	234	△410
法人税等合計	2,450	1,375
少数株主損益調整前四半期純利益	3,865	2,142
少数株主利益	50	47
四半期純利益	3,814	2,094

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,865	2,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△36
繰延ヘッジ損益	0	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	40	△142
その他の包括利益合計	△22	△181
四半期包括利益	3,842	1,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,791	1,913
少数株主に係る四半期包括利益	50	47

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,239	5,644	1,095	61,979	—	61,979
セグメント間の内部売 上高又は振替高	28	0	54	83	△83	—
計	55,268	5,644	1,149	62,062	△83	61,979
セグメント利益	4,931	363	626	5,921	—	5,921

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,654	5,300	1,007	61,962	—	61,962
セグメント間の内部売 上高又は振替高	39	—	44	84	△84	—
計	55,693	5,300	1,052	62,046	△84	61,962
セグメント利益	3,388	332	566	4,287	—	4,287

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「砂糖事業」セグメントにおいて、岡山市南区に所在する岡山工場の精製糖生産設備について、資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生ずる見込みとなったため、減損損失2,009百万円を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。